

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第 111 回 レベル 1PRA 分科会 議事録

1. 日時 第 111 回：2021 年 10 月 29 日（金）10:00～11:20

2. 場所 Web 開催（Webex）

3. 出席者

（出席委員）牟田主査，橋本（和）幹事，佐藤（吉），岩谷，高橋（拓），齋藤，竹次，
橋本（望），池田，丹野（佐藤（輝）委員代理），三橋，塩田，小森（13 名）
（常時参加者）箱崎，不破，白水，友澤（4 名）

（敬称略）

4. 配布資料

P4SC-111-1 人事案件の確認

P4SC-111-2 専門部会決議投票意見対応について

P4SC-111-3 内の事象 L1PRA 標準 基準原案（投票意見対応）

P4SC-111-4 内の事象 L1PRA 標準 指針原案（投票意見対応）

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員 13 名が出席しており，分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。
また，配布された資料が確認された。

(2) 人事案件の確認

資料 P4SC-111-1 を用いて，先に行われた人事案件のメール審議結果について確認した。

(3) 専門部会決議投票意見対応

資料 P4SC-111-2～資料 P4SC-111-4 により，L1PRA 標準統合性能化原案の専門部会決議投票の結果，可決されたことを確認し，投票意見への対応について検討した。主な議論は次のとおり。

- ・基準 8.2.2.3 でのコメント対応に関連して，用語として「停止時」では SFP との関連で不明確になることも考えられるため，修正を検討することとなった。用語としては，主に「出力運転時」に対して「停止時」を用いており，これらを基準・指針とも各々「原子炉運転時」「原子炉停止時」に統一する。

- ・基準 11.2.1.1 でのコメント対応による修正文において、「不利な従属性」は「従属性」とする。
- ・指針 11.1 a) でのコメント対応による修正文は、「原子炉停止時の POS に特有の作業においては、行う作業に起因する人的過誤事象が起因事象となるか否かを調査し、必要となる人的過誤事象を同定する。」に訂正する。
- ・指針 11.4 a) でのコメント対応では、議論の結果、修正文案のとおりとし、別途ご意見等あれば反映していく。
- ・指針 解説 1.1 でのコメント対応による修正文は、「・・・この指針と並列する標準として PRA 用パラメータ推定の実施基準を直接引用しているため相反することはない、重複する引用規格はこの指針での記載を省略している。」に訂正する。

(4) スケジュール, その他

基準・指針原案の次回 12 月の標準委員会での本報告に向けて準備を進める。次回分科会は、標準委員会本報告後の 1 月下旬～2 月初旬を目途に改めて調整する。

以上